



「入ってよかった、京都宅建！」

「あってよかった、京都宅建！」

公益社団法人 京都府宅地建物取引業協会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会京都本部

会長・本部長 伊藤 良之



あけましておめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願いたします！



今年の暦は「甲辰(きのえたつ)」年、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」というおめでたい年だそうです。

京都宅建においても芽吹き、成長し、姿を整えて行ければと考えます。

京都におきましては、コロナ禍がようやく収束し、昨秋にはインバウンドを始め観光客が戻り大変な賑わいになりました。

昨年3月の文化庁の京都移転により、文化、観光、産業、住宅と、ますます京都の魅力が注目されると考えています。

京都府下は規制緩和が進みつつあり、住宅の供給を始め、事業用不動産においては、第二名神など道路インフラの整備に伴い、物流施設、工場・事業所の誘致の話が多く聞かれます。

社会生活においては、テクノロジーが進化し、チャットGPTが話題になるなど、ますますIT化が進んでいます。AIへの対応も重要になってきます。

一方で不動産価格の地域格差も広がりつつあります。また空き家率も上昇、大手不動産や他業種からの参入や、M&Aも増えてきています。

会員の高齢化や事業継承の課題もあります。

このような諸問題について、各支部の地域の特色も鑑みながら、取り組んでいかなければと考えております。

京都宅建におきましては、会員の皆様からは、「入ってよかった、京都宅建！」、消費者の皆様からは「あってよかった、京都宅建！」のキャッチフレーズのもと、研修会を通じて会員の皆様の一層の資質向上を図り、リアルな交流会を通じて会員相互のコミュニケーションを深めてまいりました。

昨年は、重点事業として京都宅建のブランディングに取り組みしました。

消費者の皆様に対して、クロスメディアブランディングを行い、一層、京都宅建の認知度の向上を図っております。

ブランディングの一環として京都宅建のPR動画を作成いたしました。テレビや映画館などでご覧になった会員の方もおられると思いますが、出演者はほぼ会員と従業員の皆様で、ロケ場所も会員にご協力いただき、オール京都宅建で撮影いただきました。

そして、この1月からは初めての試みとして、ユーチューブで情報を発信していきます。皆様も「京都宅建チャンネル」で検索いただき、是非、チャンネル登録、高評価をお願いいたします。

結びにあたりまして、

本年が会員皆様にとりまして、2024年がより飛躍の年となりますよう心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。